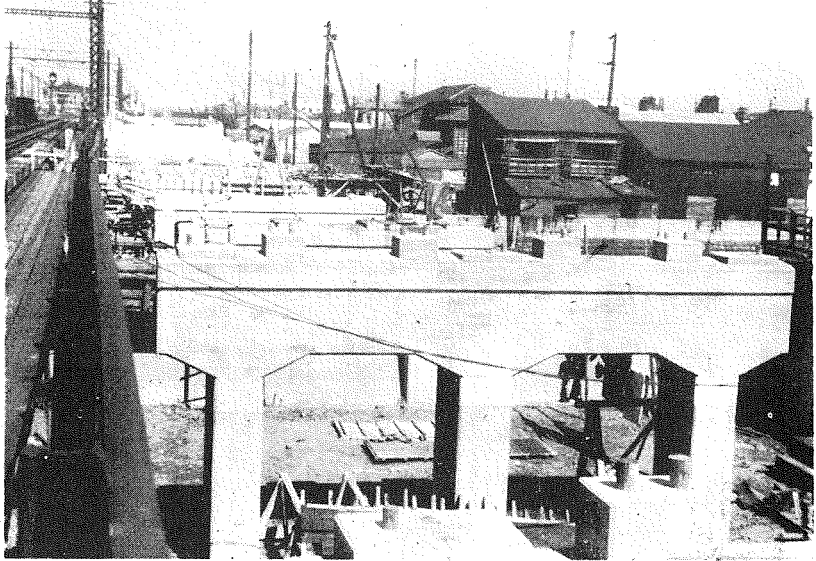


(12) 兩國錦糸町
間橋三丁目
架道橋桁架
設作業(其一)

(13) 緑町三丁目
架道橋桁架
設作業
(其二)

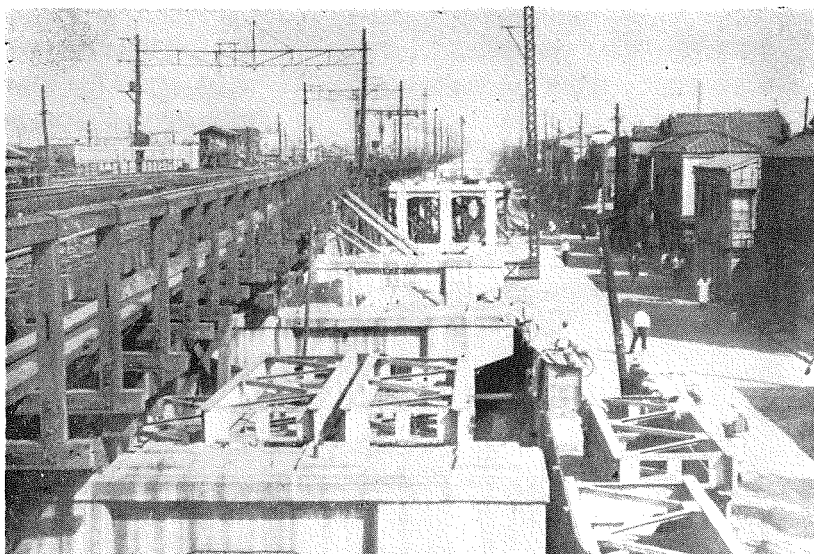


鐵道省東京改良事務所長

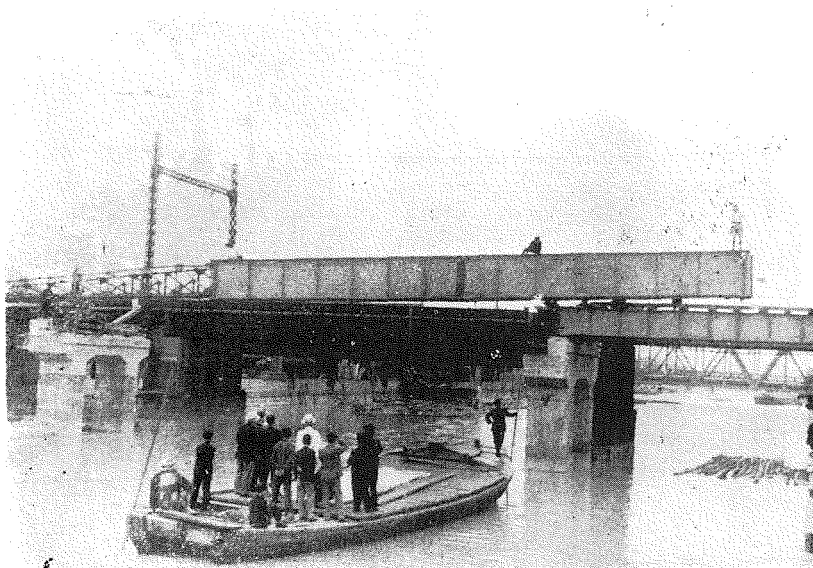
井 上 隆 根

鐵道省東京改良事務所々管工事概況

(14) 兩國一錦糸
町間在來架道
橋上より完成
せる大横川橋
梁附近を見る



(15) 大横川橋
梁支間19.6
米の上路級桁
手延式架設作
業。



目次

- 1 緒言
- 2 東海道線改良工事並に新橋駅附近地下鐵道工事(以上新年號掲載)
- 3 總武線改良工事
- 4 中央線改良工事並に武藏境變電區受電所新設工事

3. 總武線改良工事

總武線は昭和7年兩國市川間電車運轉開始以來現在千葉まで電車運轉がなされて居る。

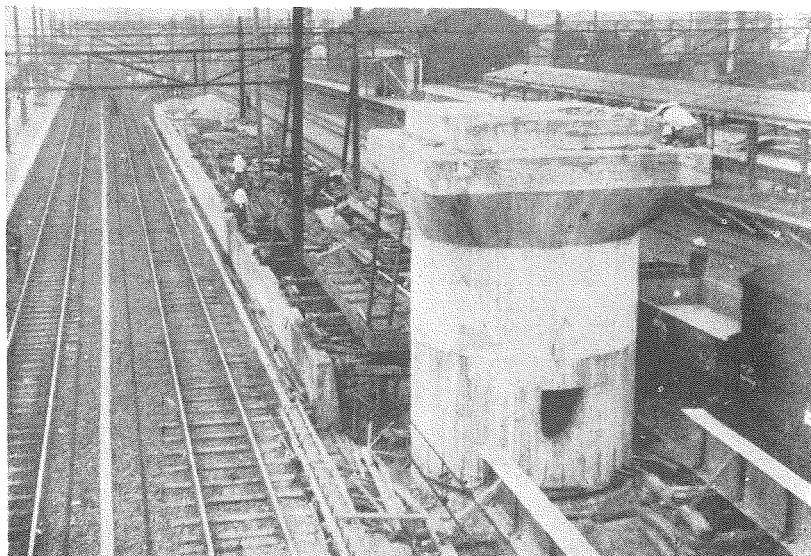
その内兩國平井間は電車運轉最大密度六分隔時であり、且つ速度を異にする電車旅客列車貨物列車の混合運轉で上下各二百回以上に達して居る。而してこの沿線は近時益々人口稠密し交通量も亦漸時増加しつつある。

今回兩國平井間に二線増設をなし、電車と列車とを分離し、輸送量の増加を計る事になったのである。

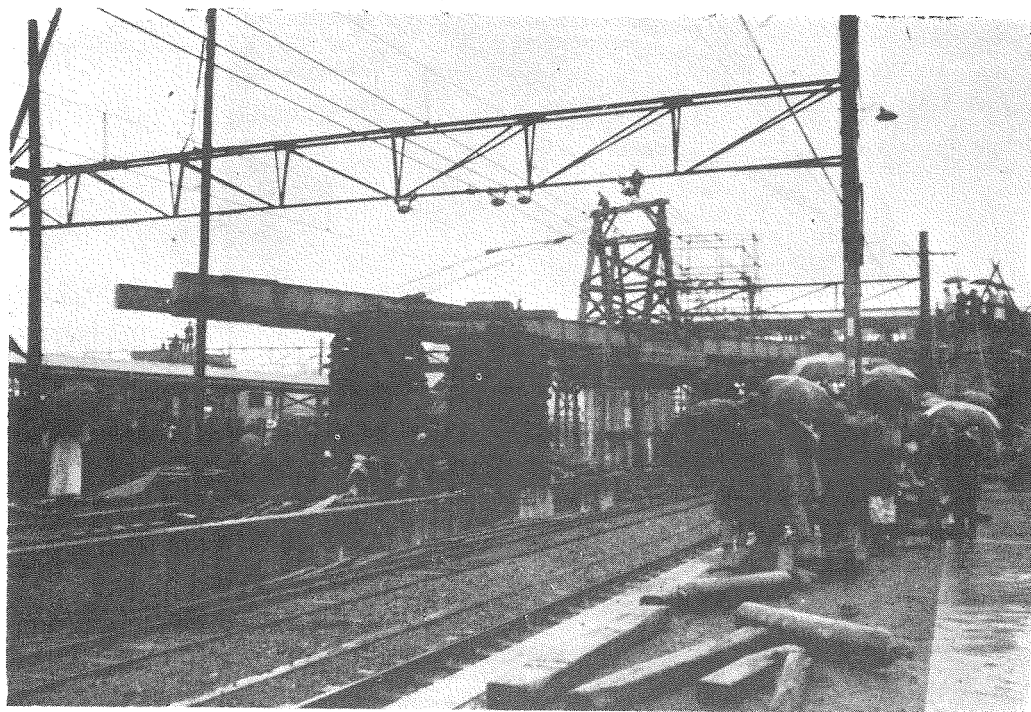
兩國驛より東横河岸架道橋に至る約1.1kmの間は全部高架橋である。この区間は地盤極めて軟弱であるので高架橋の自重を出来るだけ

軽くする意味に於て鐵骨ラーメン型とし、基礎も矢板及び木杭を併用して居る、現在下部構造は完了し、目下鐵桁架設施工中である。東横河岸架道橋より旅所架道橋に至る1.1km300mの間は錦糸町驛の改良を主とするものであり、驛新本屋を四ノ橋通り沿ひに新設し乗降

(16) 橋脚



(17) 桁廻轉



場は在來のものを撤去新に電車専用ホームを新設したのである。

この工事は已に完了し13年4月より新本屋及びホームの使用を開始して居る。

旅所架道橋より舊中川橋梁に至る約1千600米の間は龜戸驛の改良を含むものであり、龜戸驛は在來本屋及び乗降場はその儘とし新に電車専用のホームを増設し且つ電車線は小名木川線の下をくゞり之と立體交叉をなす計畫である。

最後の1千間は平井驛の乗降場の一部を改築し電車留置線を増設し且つ貨物線關係の配線を變更する計畫である。

4. 中央線改良工事並に武藏境變電區受電所新設工事

中央線は昭和5年淺川までの電車運轉開始

以來、立川淺川間の單線區間には旅客列車貨物列車及び電車の併合運轉が行はれて居る。

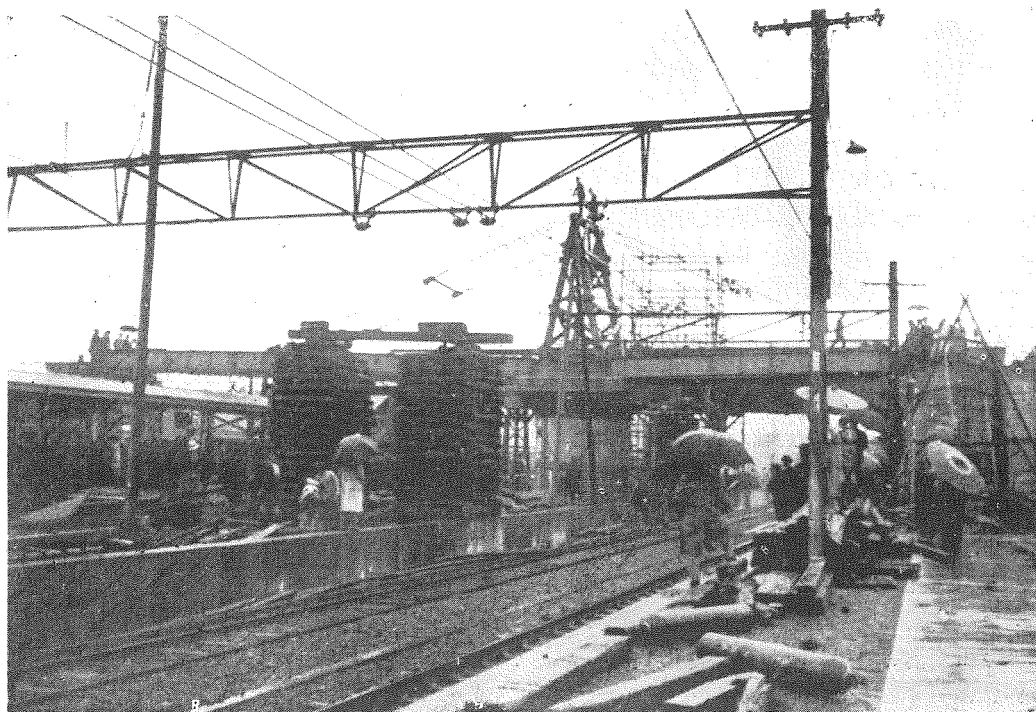
加ふるに季節的臨時列車及び電車の増發があり、已に單線運轉としてはその限度に達してゐるばかりでなく、更に單線區間各驛の行違による制肘は立川以東の運行に迄支障を及ぼしてゐる状態である。

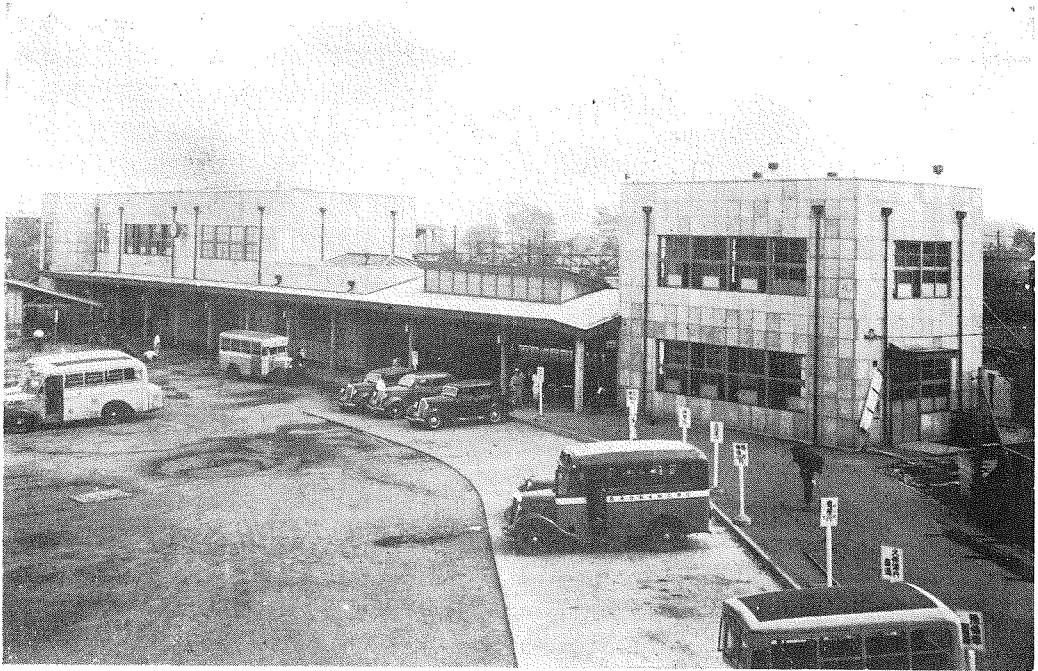
而して沿線の發展は日を追ふて盛であり、輸送量の増加は益々大となる傾向にあるので、立川淺川間を複線にする事としたのである。

この線路増設工事中には日野、豐田、八王子、淺川各驛の改良多摩川淺川兩橋梁の増設及び八王子淺川間の新電車驛設置等がある。

工事は目下大半進捗し既に日野豐田兩驛の新築並に改築及多摩川並に淺川橋梁が完成し豐田までは複線と成つて居る。

(18) 桁廻轉作業終了





(19) 八王子驛 改築成つた八王子驛は鐵骨輕コンクリート張りとして外壁は輕コンクリート張である。

八王子驛は舊木造本屋を撤去し鐵骨輕コンクリート張りの新本屋を建設し驛前はアスファルト舗装となすものである。

在來の旅客本線と貨物本線との位置を全く變更するものであつて、これに伴ふ乗降場及跨線橋の位置の變更に伴ふ特殊(廻轉式)跨線橋架設法並に斜路(Ramp)等がある。已に新本屋は竣功し、使用されて居り構内工事も着々竣功に近づいて居る。

淺川驛は電車終端驛としての電車専用ホーム及び電車留置線を増設するのである。

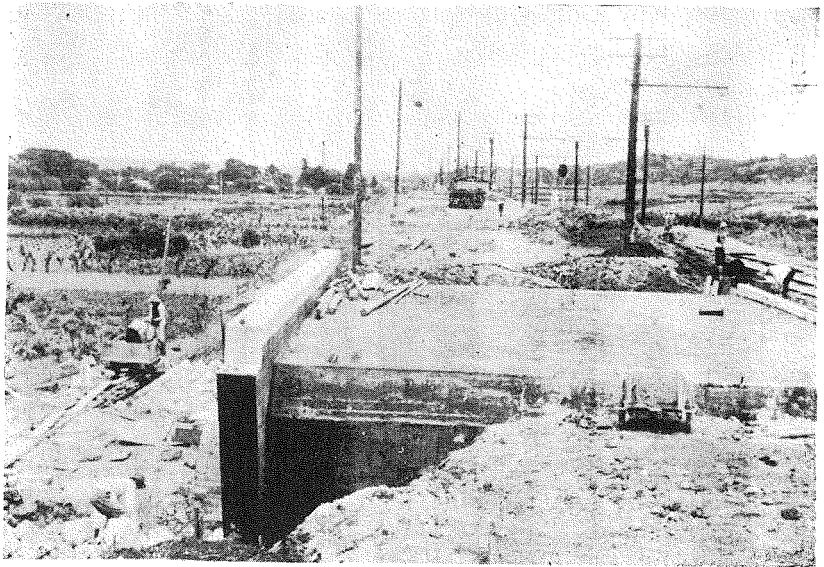
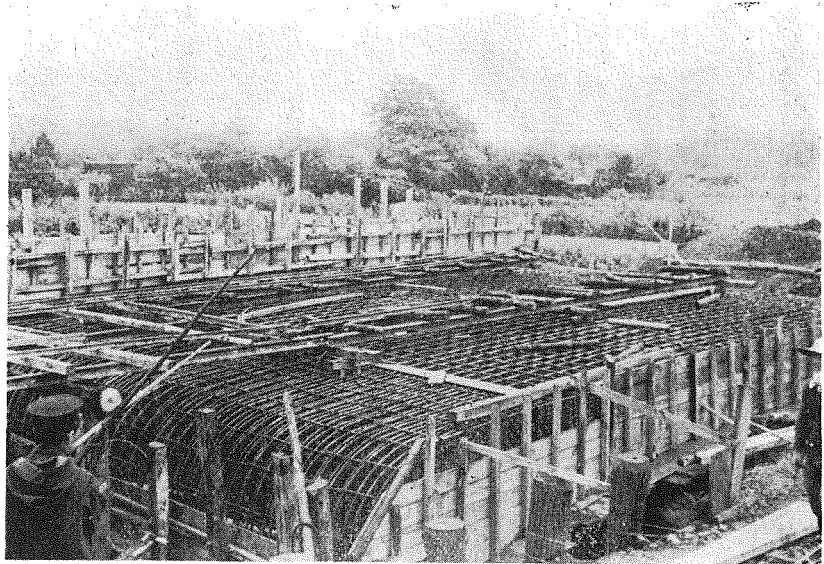
尙八王子淺川兩驛の中間に地元民の請願による新電車驛新設工事施工中である。

本區間は目下着々進行中で14年3月までに複線運轉を開始する運びに成つてゐる。

次に武藏境變電區構内の受電所増設工事は彼の鐵道省信濃川發電所に於ける發電電力を受電する設備をなすもので調相機室及び其附屬變壓機運搬軌道新設等である。

これは目下着々工事進行中である。

(20) 浅川架道橋
 スラブ配筋 本橋梁は浅川驛橋内(新宿方)を横断する府縣道 192號線に架橋するもので「ラーメン」型鉄筋コンクリート橋としては相當大径間のものである。



(21) 浅川架道橋埋戻及袖石垣間知石、空積狀況

徑	間	11米
頭	空	4.9米
全	長	15.8米
ス	ラ	
ブ	厚	0.8米